

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名	作成年月日	直近の更新年月日
鳥取市	福部地域（箭溪、高江、栗谷）	令和4年3月31日	年 月 日

1 対象地区の現状

① 地区内の耕地面積	50.2 ha
② アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	38.1 ha
③ 地区内における43才以上の農業者の耕作面積の合計	38.1 ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	28.7 ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	5.0 ha
④ 地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	31.0 ha
(備考)	

2 対象地区の課題

<ul style="list-style-type: none">・地区内では農業従事者の高齢化が進み、また後継者の目途がついていない農家が多いため、今後耕作者が減少することが見込まれ、新たな受け手の確保が必要になっている。・機械が老朽化しているが、経費がかかるため買い替えが進んでいない。・耕作放棄地が増加している。・圃場の区画が小さい、農道も狭い等、耕作条件がよくない。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

地区の農地利用は、中心経営体が担うほか、集落内のその他の農業者が支えていくことで対応していく。また、入作を希望する認定農業者や認定新規就農者があれば、受入れを促進する。
--

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針（任意記載事項）

●農地の貸付等の意向

自作が可能な農業者は現状のまま耕作を継続するが、様々な事情で営農の継続が困難になった場合は中心経営体に貸付けを検討する。

●農地中間管理機構の活用方針

農地の貸借は、農地中間管理機構の活用を検討する。

●基盤整備事業への取組方針

農業の生産効率の向上や農地集積・集約化を図るため、農地の大区画化、用排水路・農道の整備等を目的に基盤整備を検討していく。

●新規・特産化作物の導入方針

生産性や採算性を踏まえて検討していく。

●鳥獣被害防止対策の取組方針

鳥獣対策の集落点検マップ（侵入防止柵や檻の設置状況、放置果樹や目撃・被害発生場所等）づくりや捕獲体制の構築等に取り組む。また、現在設置しているワイヤーメッシュ等を適切に維持管理しながら、集落全体で侵入防止柵を設置することも検討していく。

●災害対策の取組方針

道路、用排水路等は、基盤整備により改善が見込まれるが、被害防止のため定期的に保守・点検に取り組む。